

君となら一緒に生きて行ける

迫畑吉美

広島県・四八・無職

前略。交通事故で首から下が麻痺し全面介護の身に、男前でもなくお金もない私の口説き文句に乗せられたと悔いているようですね。こんな筈じゃなかったのにと。物理的にはほとんど何も出来ない私と共に歩もうと、結婚に同意してくれて本当に嬉しく心強い思いでした。今でも。療護施設という限られた空間に集団生活では、夫婦とは名ばかりの営みしか出来ません。仮設の住まいの感が否めない現実に、中傷や批判に耐えての暮しはストレスも溜まるでしょうね。生きてきた道も育った環境も価値観も人生の目標も違った二人が、夫婦として暮せることを幸せに思っているのですが……。

一目惚れの私に好意を寄せてくれたことで大いなる目標と生きがいがありました。君が好意以上の感情を抱いてくれたことで醒めた療養生活に熱い心が戻りました。そして君がいることで人生を拓こうとする意欲が出てきたのです。二人の思いである脱

施設を目標に希望の日々が心の中に渦巻いています。今でも。

君との想いが実現しないままに、君の期待に沿えないままに今日に至っていることが後悔の大きな要因と思いますが、それもそっくり私の悩みでもあり不甲斐ない自責の念でもあるのです。共に重度の障害を持つ身とは言え互いに夢を語り将来への人生の見取図が描けている限り失望や諦めはありません。そう信じられるのは君がいるからです。

君の愚痴や悔いの言葉と私の不甲斐なさ責められるたびに心の痛む思いです。口先の甘言で無責任な夢に誘い込んだかもと反省しつつ、未来には必ずや君の期待に応えられる暮しが築けると強く思っています。君となら、君となら一緒に夢が実現すると信じています。君の笑顔と夜中にそーっと布団を掛けてくれる心遣いが本心と分かっているから熱い心が持続しているのです。君の恐妻ぶりを心強く感じていますよ。有り難う!!

草々

*妻は脳性小児麻痺で言語障害と手足が不自由です。何とか身の回りのことはできますが、時間もかかり寒いときでも汗をかくほど。粘り強く努力の女性です。